

県立産業技術短期大学校（IT短大）の留学生の知事表敬訪問について

県立IT短大では、機能強化の一環としてグローバル化への対応に力を入れており、今般、インドネシア教育大学の卒業生2名を留学生として初めて受入れることになりました。

IT短大とインドネシア教育大学とは、これまでオンライン体験授業などにより交流を深めてきたところであり、受入れた留学生の皆様には、IT短大での2年間の学習の後、国際的な視野を持つ即戦力のIT人材として県内企業に就職され、大いにご活躍されることを期待しているところです。

本日（4/6）、IT短大に入学した2名の留学生が知事を表敬訪問し、就学にあたっての抱負の発表等を行いました。

記

1 表敬訪問の概要

- ・日 時 令和5年4月6日（木）14:10～14:30
- ・場 所 知事応接室
- ・出席者 留学生2名、県立IT短大 学長、産業人材育成課長

2 発言要旨

○大井川知事

二人のような素晴らしい方に茨城で学んでもらえてうれしく思う。IT短大は県としても力を入れている学校なので、そこで学んで茨城に関係のある職に就いていただきたい。また、今後、世界の中でプレゼンスの高まるインドネシアと我々を繋ぐ人材となっていていただくことを期待している。

○ディアナ リズキ オクタリナさん

インドネシア教育大学で日本語教師をしながら大学院で勉強をしてきた。日本語を教える経験を経て、日本語能力だけでなく、急速に発展しているITに関する能力が非常に重要だと気付いた。ITについては、大学院に入る前に学んだことがあり、IT短大での学習を通じて、より高度な能力を身に付け、茨城に貢献できる人材になりたい。

○シハブ アルファレズさん

高校の頃にIT分野に初めて触れ、2年生の時には、自動開閉ゴミ箱を自作した経験がある。IT短大では、プログラミングのような情報システム分野を深く学びたい。また、日本語については、日本アニメを字幕なしで観たいという思いで学び始めたが、日本がますます好きになった。特に、茨城県は自分の出身地の風景などと共通点があり、とても気に入っている。2年間の学習を通じて、茨城に貢献できる人材となることを目指したい。

○大井川知事

我々としても大いに期待している。県としても応援させていただく。

3 写真 別紙1のとおり

4 参考資料

別紙2 県立IT短大のグローバル教育の推進(インドネシア教育大学留学生の受入れ概要)



左からディアナさん、大井川知事、シハブさん

県立IT短大のグローバル教育の推進 (インドネシア教育大学留学生の受入れ概要)

別紙2

産業戦略部産業人材育成課

(1) 目的・内容

- ・ インドネシア教育大学の卒業生を県立IT短大の留学生として受入れ、グローバル教育の推進を図る
- ・ 2年間、プログラミングなどを学び、**卒業後は県内企業に就職予定**
- ・ 国際的な視野を持つ即戦力人材として、県内での活躍が大いに期待される

県立職業能力開発短期大学校として、海外大学と覚書を結んでの留学生の受入れは全国で初

(2) スケジュール

- ・ 2020.11月 茨城県とインドネシア教育大学との人材の育成等の覚書締結
- ・ 2022.3月 IT短大とインドネシア教育大学とのオンライン説明会
- ・ 2022.6月 IT短大体験授業実施
- ・ 2022.8月 IT短大とインドネシア教育大学との留学生
送出し受入れの覚書締結式
- ・ 2022.10月 留学生入学者選考試験・合格発表
- ・ 2023.4月 「第1期生」県立IT短大訓練開始

IT短大とインドネシア教育大学との覚書締結式(2022.8)の様子

